

令和3年度学校自己評価システムシート（県立越谷東高等学校）

目指す学校像	志を高くチャレンジ精神に満ちた生徒を育て、きめ細かく面倒見のよい指導を実践し、地域から信頼される学校
--------	--

重点目標	1 学習支援を充実させ、生徒の学習力を高める。 2 生徒一人一人の希望にそった進路決定を実現させる。 3 規律ある生活態度を身につけさせ、部活動を活性化させる。 4 地域との連携を深め、社会に貢献できる生徒を育成する。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	【現状】 ○自発的な学習習慣を定着させるため、ベネッセclassiを全学年に導入し活用した。 ○Google Classroomを活用して、課題や連絡を行った。 【課題】 ○3年生に向けて進路決定に係わらず、持続して勉強に取り組ませる必要がある。 ○授業公開日を増やし、授業改善に役立てる。	○学習習慣の定着と自己学習力の向上 ○指導力の向上による組織的な学習支援体制の充実	①家庭学習を前提とした授業を展開し、学習習慣を身につけさせる。 ②実力テストの実施と結果を活用し、生徒の学習意欲を高め、学力を向上させる。 ①教員の指導力向上を図るため、授業公開や研究授業を実施する。 ②研究授業後に各教科で研究協議を実施、授業改善に努める。 ③研究授業や授業観察を行い、教員の指導力向上に努め、生徒の学習意欲を高める。	①授業アンケート「予習・復習をしている。」75%以上。 ②実力テスト結果を昨年よりも向上させ、経年変化を分析。 ①授業公開を年5日実施。初任研・5年研にて、研究授業を実施。 ②各教科で研究協議を実施。 ③学校評価アンケート「分かりやすい授業にするため工夫している。」80%以上。			
2	【現状】 ○生徒の進路実現を図るため、計画的・組織的な進路指導を継続。 ○大学入試改革対策、小論文・面接指導、ポートフォリオに基づいた指導を実施した。 【課題】 ○計画的な進路指導を継続し、生徒の進路を実現させる。 ○一般選抜での受験までを見据えた対策を充実させる必要がある。	○生徒一人一人の進路希望の実現に向けた計画的・組織的な進路指導の継続	①計画的な進路指導を実施し、生徒の進路を実現させる。 ②大学入試改革の対策を行い、進学希望者へ進学補習を実施する。 ③多様な受験形態に応じた柔軟な進路指導・面接指導を実施する。 ④就職希望者に対して、企業研究・面接指導を実施する。	①進路未決定者数を0に近づける。 ②每学期進学補習の実施。長期休業中に進学補習の実施。大学短大の現役進学者数の増加(R1 106人) ③学校評価アンケート「進路に関する情報は、生徒に十分に提供されている。」90%以上。 ④就職内定率100%。			
3	【現状】 ○全職員の共通理解のもと生徒指導を実施し、落ち着いた環境を整えている。 ○新型コロナウイルス感染防止のため学校行事の殆どが中止、部活動中止の期間が続いた。 【課題】 ○全職員の共通理解のもと生徒指導を継続して実施する。 ○行事の内容を見直し、コロナ禍でも開催できるよう工夫する。	○きめ細かく丁寧な生徒指導の実践による基本的生活習慣の確立 ○生徒の主體的な活動の支援による部活動の活性化	①挨拶の励行。言葉遣いの指導の徹底。 ②統一基準による整容指導の徹底。 ③全教員による身だしなみ指導の実施。 ①部活動体験会・部活動見学会を実施し、加入率を向上させる。 ②部活動の活動報告や大会等の結果をHPで積極的に発信する。	①学校評価アンケート「挨拶や言葉遣いの指導を十分に行っている。」90%以上。 ②学校評価アンケート「頭髪や服装指導を十分に行っている。」90%以上。 ③毎学期に身だしなみ指導を実施。 ①部活動の加入率90%以上を目指す。 ②各部活動のHPを年間平均3回以上の更新を目指す。			
4	【現状】 ○新型コロナのため、学校説明会の時期や内容を変更して実施した。 ○学校行事の殆どが中止となりPTA・後援会総会、理事会は規模を縮小して実施した。 【課題】 ○部活動体験を増やし、学校説明会の日程を再検討し、積極的に情報発信を行う。 ○今後もPTA・後援会と連携して生徒の健全育成を図り、学校運営に活かしていく。	○家庭や地域等への積極的な情報発信と連携・協力の推進 ○保護者と連携した学校運営の推進による本校教育活動の理解深化	①学校説明会を通じて、魅力ある情報発信を行う。中学校訪問を全教員で実施する。 ②HPによる学校の情報発信を積極的に行う。 ③地域に貢献するため、他校種との交流や地域のボランティア活動に積極的に参加する。 ①PTA・後援会からの意見や要望を学校運営に活かし、保護者からの学校満足度を向上させる。 ②PTA・後援会に学校行事の協力を依頼し、役員の参加者数を増やし、連携を図る。	①学校説明会参加者数の延べ1700名以上。(R2 1676名) ②HPトップページの更新回数を年間50回以上、HPのアクセス数月平均10,000回以上。 ③越谷市内中学校との授業交流を実施、地域のボランティア活動に参加。 ①学校評価保護者アンケート「本校に入学してよかったと感じる。」(入学満足度)90%以上 ②PTA・後援会役員の学校行事での参加者数。			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	令和	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		